

山陰冷暖 株式会社

● 建設業（給排水衛生設備工事、空調設備工事など）



37
LEADING COMPANY

ライフラインを守る仕事に誇り 次代を担う若手社員が活躍中

1957年の創業時から島根・鳥取両県で事業を展開する《山陰パナソニック株式会社》のグループ企業。建物の管工事（水道・空調）に関わる総合設備業を通し、地域の快適で豊かな暮らしを支えている。



地域と仲間を守る 進化する集団を目指して

日常生活やビジネス活動に必要な「水」を、いつでも安全に利用でき、使い終えたら適切に処理する。住宅やビルなどに水道を引き込み、建物内外の水の供給と排水をスムーズに行う「給排水設備」、キッチンの流し台や洗面台、風呂、トイレ、洗濯機などの機器を排水設備とつなげ、快適・清潔に保つ「衛生設備」。この2つの工事は、建築設備の中で最も人の生活に直結する設備のため、建物の設計段階から基礎・躯体・内装工事と全工程と関わりながら、丁寧に、かつ正確に進められている。《山陰冷暖株式会社》は、1957年創業。建物の水道・空調などに関わる管工事の提案・設計から監理、工事、保守メンテナンスを行う総合設備企業だ。主に給排水衛生設備の施工で、住宅やマンション、工場、病院や福祉施設、学校、公共施設など、あらゆる建物を手がけている。新築住宅や施設の工事だけでなく、リフォーム工事、一般家庭の水漏れ・トイレの詰まりなどのトラブルにも迅速に対応。完成した建物を眺めるだけではその仕事の足跡はわかりにくいですが、山陰冷暖は68年で培った経験と実績、確かな技術

力で、地域と人のライフラインをしっかり支えている。

そんな山陰冷暖では、今、「2030年、地域社会になくしてはならない山陰の星になる」という目標に向けて、全社一丸で走り出している。

「星」とは業界のトップを意味しますが、単に業績を上げるだけではありません。（一）お客様・従業員・協カスタッフなど、人が集まる「会社」（二）技術の継承と進化、（三）社員一人一人が主役になる組織づくり。この3つを満たしてこそ、真のトップだと考えています」と話すのは、2022年4月に代表取締役役に就任した大館禎典社長だ。大館社長は、元山陰パナソニック株式会社社員で、電気設備資材部門の営業所所長を務めていた時に、山陰冷暖の前の高橋章社長（故人）から、直に会社の舵取りを託された人。社会のインフラを支える水道設備は維持管理が不可欠で、整備や老朽化対策のニーズがあり、景気に左右されない業種といわれているが、山陰冷暖はこころばらく安定期が続いていた。大館社長は、第二の成長期を迎えるためのカギとなる技術の継承と若手技術者の育成、働きやすい環境整備を重視して、社員一人一人と対話を重ねながら、未来に向けた会社づくりを推進している。

未経験者・若手社員が活躍 働きやすい職場環境

「社内の技術者は10代から70代まで。30〜40代の中間層が薄いのが課題です。今のベテラン技術者が現役のうちに、若手に技術を継承して、長く活躍できる技術者を育てたい」と話す大館社長は、若手や未経験者を積極的に受け入れて育成中だ。2019年から長期研修制度を導入し、希望者は「島根県立東部高等学校」に入学。2年間、土木、管工事の知識と技術を学びながら資格試験にチャレンジ、取得を目指す。入学金・授業料は一切会社が負担し、通学期間中も会社でフォロー。同様に、技術系社員の業務に必要な資格取得も、会社が全面支援している。また、社員の働きやすい環境づくりを目指し、2025年1月から年間休日126日、完全週休2日制を実施。有給休暇は入社日から10日付与され、誕生日などの特別休暇や、育児・介護休業も取得しやすい。「会社は大人の学び舎」と位置づけています。仲間やお客様と出会い、一生の技術を身につけながら、仕事を通して一人の人間としても成長できる。そして、卒業する時、人生が豊かになると信じています」と話す大館社長の下では、若手社員が活躍中だ。



1 道路下に埋設された本管から水道を引き込み、建物内の水道施設に連結させるため、配管するパイプを、現場で使うサイズに合わせ丁寧に切断する 2 現場の作業に向けて社内ミーティング中の工務部社員 3 大館禎典社長。山陰パナソニック株式会社出雲電材営業所所長を経て、2022年山陰冷暖に入社。同年4月、代表取締役役に就任。



山陰冷暖 株式会社

創 業 昭和32 (1957) 年3月30日

代表者 代表取締役 大館 禎典

社員数 38名 (男32名 女6名)

本 社 島根県出雲市市町840-3

事業内容

建物の管工事（主に水道及び空調）に関わる提案・設計・監理・工事・販売・保守メンテナンス

勤務地(採用エリア)

出雲市、松江市

採用区分

新卒採用

キャリア採用

インターンシップ・キャリア

有 日程が決まり次第、ホームページとInstagramにて、順次情報公開。

採用担当者からあなたへ

生活に欠かすことのできない水などのライフラインを守っているからこそ、「しっかり働いてしっかり休む」。仕事もプライベートも全力で応援しています！完全週休二日制を導入し、働きやすい魅力ある職場環境作りに取り組んでいます。興味を持ってくださった方は、ぜひ会社見学やオープンカンパニーにお越しください。若手社員と一緒にお待ちしております。

総務部 部長
高根 徹さん

採用に関するお問い合わせ先

0853-21-3415

公式サイトはこちら



中途のハンデ無く仕事にチャレンジ

「山陰の星になる」ための一翼を担う存在に

技術部で福祉施設などの現場管理を担当。様々な人々と連携しながら、安全に仕事を進め、工事が完了して目に見える形となった時、やりがいを感じます。今は1級管工事施工管理技士を目指して勉強中。会社の目標の“2030年～山陰の星になる”に向け、その一翼を担う存在になりたいです。



技術部主任
宇家 達也さん(42)
2017年入社(9年目)

社員思いの福利厚生 長く安心して働ける

人事と経理を中心に、建設業許可の申請や入札業務、勤怠管理などを担当。社内の円滑な運営を支えるために正確な対応と、社員の皆さんが気持ちよく働ける環境づくりを心がけています。当社の福利厚生や働き方への取り組みに魅力を感じ、入社。仕事と育児を両立させ長く働きたいです。



総務部
山根 志緒さん(29)
2020年入社(6年目)

工務と営業の二刀流 新規顧客を増やしたい

45歳で工場勤務から転職。入社後は1年間工務部で学び、2年目から営業部へ。現在は、出雲から益田をテリトリーに、工務営業として活動しています。出雲本社に赴任して2年目ですが、会社の知名度が高く営業面で心強いです。自分なりの営業を確立し、新規のお客様を増やしたいです。



営業部
安岡 聡さん(52)
2020年入社(6年目)

会社で“今必要な”人材になるために

同業種から転職。入社からすぐ前職の経験で積算を担当し、私が作成した見積書が工事の受注につながり、協力会社さんにも貢献できた時はうれしかったです。しかし、技術部で求められる業務は幅広く、まだまだ勉強中です。設計・監理業務の力をつけ、会社で今必要な人材になりたいです。

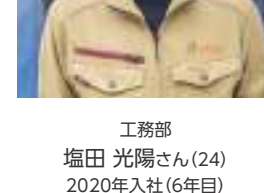


技術部
岩成 聡さん(42)
2024年入社(2年目)

REIDANの働きやすさ

貪欲にチャレンジして経験を重ね 頼りにされる社員を目指したい

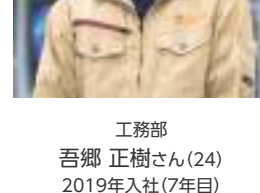
身体を動かす仕事が好き。給排水衛生設備工事は、ライフラインを支える仕事だと知り、魅力を感じて入社しました。現在は、公共施設、大型店舗などの新設現場で、配管工事、水漏れ・詰まり修繕対応、機器の取替などを行っています。入社3～4年目に、2級建築配管技能士資格に挑戦し、2回目で取得することができました。今後も業務に必要な資格取得や新しい仕事に挑戦し続け、先輩方のように頼られる社員を目指したい。



工務部
塩田 光陽さん(24)
2020年入社(6年目)

ゼロから現場で学んで成長 業務の幅を広げ施工管理へ

普通科高校出身。早く仕事に必要な知識を取得したい気持ちが強く、技術校に通いました。2級管工事施工管理技士を取得した今は、新築商業施設の給排水配管、水漏れや詰まりなどの修繕作業に加え、施工管理を行っています。給排水設備は、建物の設計、基礎工事から全工程に関わるので、現場のコミュニケーションが大切です。何か問題が起きても、社内や協力会社さんと相談し、その都度解決するようにしています。



工務部
吾郷 正樹さん(24)
2019年入社(7年目)

一つ一つの仕事を通して 自分の成長を実感できる

住宅の新築やリフォームに伴う水回り工事や修理、ホテルや学校など大規模な施設の給排水衛生設備、空調工事などに携わってきました。私は、一つの現場でお客様や協力会社、他業者の方と協力しながら施工することにやりがいを感じます。今後は、現場管理に挑戦し、上司や先輩に相談しながら、学びを重ねてスキルを磨き、後輩に頼られる存在を目指します。



工務部
石川 温大さん(22)
2022年入社(4年目)



「ありがとう」の言葉が 仕事のモチベーション

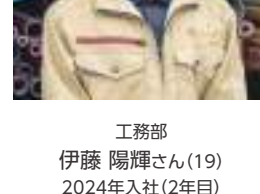
総務・人事・経理を担当し、お客様からの修理受付などの電話・来客対応、受注した工事に必要な安全書類や契約書の作成など、建築設備会社ならではの事務業務を学んでいるところです。一番やりがいを感じるのは、お客様やお取引先、そして社内の人から「ありがとう」と言われた時。その5文字が、仕事のモチベーションにつながっています。今は建設業に特化した経理のスキルを証明する建設業経理士取得が目標です。



総務部
清水 蓮斗さん(24)
2024年入社(2年目)

挨拶や礼儀をしっかり身につけて 人としても成長していきたい

高校の先生に会社を紹介された時、配管や空調の知識は無いけれど、この業界でがんばってみたいと思いました。今は、長期研修制度の2年目。主に配管と土木の知識や技術を学んでいます。夏・冬など技術校が長期休暇の際は、会社にフルタイムで出勤し、先輩たちの現場に同行して実務を学ぶチャンスです。その時、先輩がお客様から感謝されるのを間近に見て、とても感動しました。自分もそんな技術者になりたいです。



工務部
伊藤 陽輝さん(19)
2024年入社(2年目)

知識や技術のない状態で入社 長期研修制度で不安解消

入社と同時に長期研修制度を利用して、技術校に通学。毎朝、自宅から学校へ直行し、夕方は会社に戻り、その日の業務連絡を確認して退社するという流れです。通学がメインといっても、会社に戻ると先輩や上司が気軽に話しかけてくれ、その日学んだ事でわからない事があると、わかるまで丁寧に教えてくださるので助かります。今は、技術校で一つ一つの資格試験を突破して技術を学び、早く仕事を任せられるようにしたいです。



工務部
江角 壱斗さん(18)
2025年入社(1年目)

歓迎会開催もひと工夫 社員企画のBBQ大会

4月の新入社員歓迎会では、ありきたりの宴会では面白くないと、先輩社員が自発的にBBQ大会を企画。終業後、会社の倉庫に会場をセッティングし、食材の買い出しや調理など連携プレーでミッション遂行。手作りの歓迎会は大いに盛り上がった。



出雲くにびきマラソン 10キロマラソンに挑戦

地域のつながりを大切に、交流行事に積極参加。3月の「出雲くにびきマラソン」では、19歳～56歳の社員有志が10キロコースに挑戦。前夜に決り集会を開き、当日はお揃いのTシャツ姿で参戦。チームワークを発揮し、全員無事、完走を果たした。

